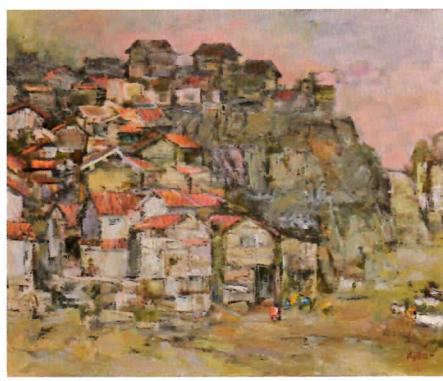
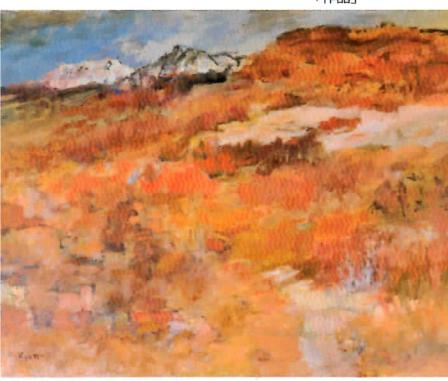
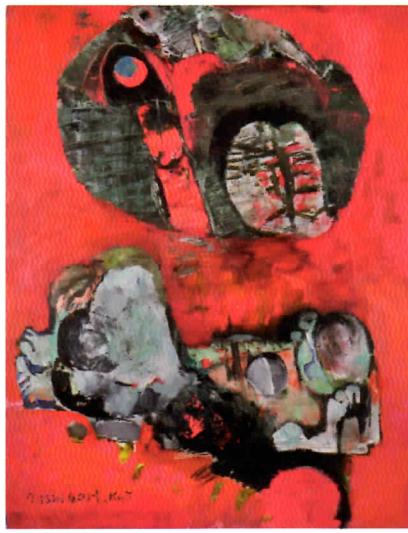


錦織恭一展 —— 絵画にささげた生涯 ——



「人」

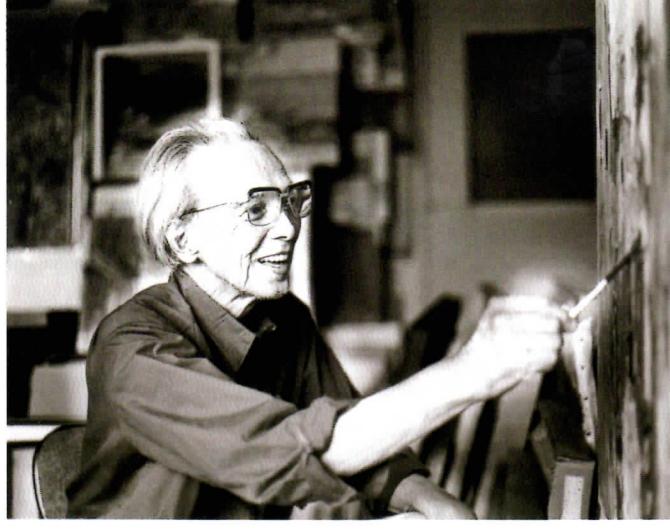
「作品」

「風景」

「漁村」

「秋」

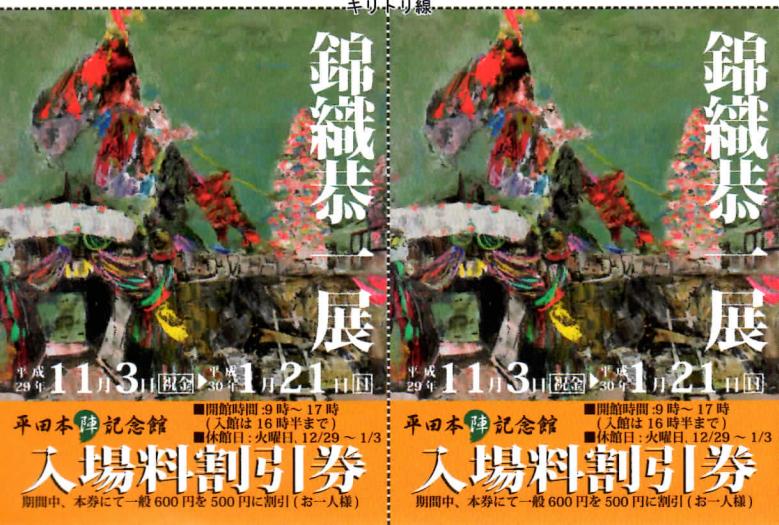
「集落」



錦織恭一氏は大正8年(1919)、出雲市斐川町に生まれ、島根県師範学校に通う傍ら、須田国太郎に師事します。昭和16年(1941)、独立美術協会展に初入選、以後昭和48年(1973)まで出品。島根で教職を続けながら、昭和21年(1946)には島根洋画会の結成に参加します。また48年には、島根県立女子短期大学教授となり、県の美術の発展に大きく貢献しました。出雲市では、平田の油彩グループ「木曜会」の指導者として、郷土の後進を育てました。そして、日本各地をはじめヨーロッパ各地を取材旅行し、色彩豊かでかつ重厚な風景、人物などを描きつづけ、平成21年(2009)90歳で永眠しました。

没後10年を迎えるにあたり、氏の画業を顕彰します。

キリトリ線



■飛行機で	大阪から(55分)	】出雲空港	——車で20分
	福岡から(65分)		
■車で	山陰道斐川ICから	30分	
	松江から	30分	
	出雲大社から	25分	
■一畑電車で	出雲市駅から	20分	
	松江・いんじ湖温東駅から	40分	
	出雲大社駅から	35分	
(電鉄 霧州平田駅から車で 5分)			
(電鉄 霧州平田駅から歩で 30分)			

■飛行機で
大阪から(55分)
】出雲空港
——車で20分
福岡から(65分)

■車で
山陰道斐川ICから
30分
松江から
30分
出雲大社から
25分

■一畑電車で
出雲市駅から
20分
松江・いんじ湖温東駅から
40分
出雲大社駅から
35分
(電鉄 霧州平田駅から車で 5分)
(電鉄 霧州平田駅から歩で 30分)

